

公益社団法人 広島市シルバー人材センター



令和5年度

事務局だより 7月号

令和5年度通常総会を開催しました

【出席総数：2,458名】（内訳 当日出席：72名、委任：1,042名、議決権行使：1,344名）

令和5年度通常総会を、6月16日(金)西区民文化センターホールにて開催しました。



会員の皆様には、ご出席いただいたほか、書面による議決権行使や委任状の提出にご協力いただき、ありがとうございました。当日は、秋田広島市経済観光局長にもご臨席いただきました。

「令和4年度事業報告」「令和5年度事業計画」「令和5年度収支予算」の3件の報告と、「令和4年度

決算報告」「新入会員の会費の取り扱い」「役員（理事）の選任」の3件の議案が承認されました。なお、役員については、広島商工会議所から推薦のありました西本尚士氏が、理事として新たに就任されました。



令和4年度事業実績

区分		令和4年度	令和3年度	増減
会員数	男性	2,231人	2,258人	△27人
	女性	1,316人	1,261人	55人
	合計	3,547人	3,519人	28人
請負委任	受注件数	11,497件	11,542件	△45件
	契約金額	951,599,843円	1,123,640,530円	△172,040,687円
	就業延人員	194,621人日	241,385人日	△46,764人日
派遣	契約件数	381件	324件	57件
	契約金額	424,953,318円	260,933,777円	164,019,541円
	就業延人員	76,215人日	50,200人日	26,015人日
合計	契約金額	1,376,553,161円	1,384,574,307円	△8,021,146円
	就業延人員	270,836人日	291,585人日	△20,749人日
	年間就業率	72.3%	76.3%	△4.0%

年会費が初年度免除となります！ 令和5年10月～

シルバー人材センターで働きたいとお考えの方に、より入会していただきやすい環境を作り、会員数の拡大をはかるため、令和5年10月から、年会費 1,800 円を初年度に限り免除します。（但し、再入会者は除きます。）

現 行	令和5年10月～
年額 1,800 円 ただし、入会年度に限り (10月～12月入会) <u>900 円</u> (1月～3月入会) <u>免 除</u>	年額 1,800 円 ただし、入会年度に限り <u>免 除</u> <u>(再入会者を除く)</u>

今年度以降は、特に就業開拓にも力を入れることとしており、就業機会を拡大することで、そのニーズに対応できるように、必要な会員数を確保する必要があります。

シルバー人材センターへの入会動機で最も多いのが、「友人、知人からの紹介」です。

お知り合いで、センターでの働き方に関心がある方がいらっしゃいましたら、会員登録についてぜひご紹介ください。

初年度は無料じゃけえ、
試してみんさい!



会員拡大のため、ご理解、ご協力をお願いします



令和5年度会員表彰

通常総会に先立ち、シルバー事業の推進に顕著な功績があった会員のほか、安全スローガン及びヒヤリ・ハット体験記最優秀作品入選者の表彰式を執り行いました。

これからも、シルバー事業の発展にお力添えをいただきますようお願いいたします。

(順不同・敬称略)

● 地域世話人継続 10 年

橋本 博子 、 粉岡 勝義 、 横山 静子

● 安全スローガン最優秀賞

『思い込み 知ったかぶりは 事故に続くよ』 田村 綾子

● ヒヤリ・ハット体験記最優秀賞

『暗闇の路地から突然、出現』 佐藤 昌則



おめでとうございます♪



7月は、安全・適正就業強化月間です！

シルバー人材センターでは、国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月を「安全・適正就業強化月間」とし、全国統一安全就業スローガンとして「安全は無理せず 焦らず 油断せず」を掲げ、職員、会員の皆さんで組織をあげて事故の撲滅を図っていくこととしています。

この期間中に、理事長をはじめ安全・適正就業部会の委員による就業現場視察を行う予定です。

全国統一安全就業スローガン



事故発生状況

6月末現在、賠償事故は8件で昨年度同月と比較して1件多く発生しています。その内訳は、草刈り作業による飛び石事故が4件、剪定作業で物を破損させた事故が3件、家事手伝いでの事故が1件です。

今年度の広島市シルバー人材センターの安全スローガン「思いこみ 知ったかぶりは 事故に続くよ」にもあるように安全に対する意識を高め、事故ゼロを目指しましょう。

(各年度6月末現在)

区分	令和5年度	令和4年度	差
傷害事故	6件	8件	△2件
賠償事故	8件	7件	1件
計	14件	15件	△1件



安全はすべてにおいて優先する

広島市安全スローガン



会議開催報告

本部除草班臨時連絡会議

6月16日（金）、除草中の刈払機による飛び石が原因の賠償事故が、今年度に入って既に4件発生し、このままでは過去最悪の状態になることが懸念されることから、情報共有とあわせて、今一度注意喚起を行うため、臨時連絡会議を開催しました。本部の4つの除草班の班長以下46人の会員が参加して意見交換し、次の改善策を行うことになりました。

- ・草刈り時には、地面ぎりぎりではなく、高めに刈る。
- ・周辺に車があるときは、カルマーを使用する。
- ・人や車両が近づいたら、一旦停止する。

理事会専門部会 安全・適正就業部会

6月29日（木）、第1回安全・適正就業部会を開催しました。

事務局から「事故発生状況」、「会員の指導措置」、「安全・適正就業強化月間現場視察の実施」、「県連合会主催 安全就業担当者研修会の開催」等について説明し、委員の皆さんに協議していただきました。

その結果、会員の指導措置については、6件すべて「口頭指導」とすることとなりました。

また、飛び石事故が増加している除草作業において、KY活動（作業に潜む危険を認識、予知して、それを作業者が共有し、安全就業につなげる活動）を行ってみてはとの提案があり、年内をめどに安全適正就業部会で危険予知シート（仮称）の作成に取り組むことになりました。



熱中症にご注意ください



暑い日が続いています。引き続き熱中症にご注意ください。

熱中症は予防が大切です。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

室内でも、外出時でも、またのどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給しましょう。大量に発汗する状況では、経口補水液（水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの）など、塩分等も含んで補給しましょう。

事務局では熱中症予防のための飴を配布しています。

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる

からだを冷やす

衣服をゆるめ、からだを冷やす

（特に、首の回り、脇の下、足の付け根など）

水分補給

水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

会員拡大の取組

入会説明会

6月下旬から7月初旬にかけて、本部、矢野公民館、佐伯区地域福祉センター、中野公民館、安佐南区民文化センター、西区地域福祉センター及び東区地域福祉センターで入会説明会を開催しました。全体で33人の方が参加され、13人の方に入会していただきました。

今後もいろいろな場所で開催しますので、センターでの働き方に興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。また、各事務所では、随時入会受付を行っておりますので、お気軽にお近くの事務所にお立ち寄りください。



会員の皆様へ！

センターへの入会動機で最も多いのが、「友人、知人からの紹介」です。お知り合いで、シルバー事業に関心がある方がいらっしゃいましたら、会員登録についてぜひご紹介ください。

女性限定入会説明会

6月19日（月）、安佐南区地域福祉センターで「女性限定入会説明会」を開催し、23人の方が参加されました。東保健センターの栄養士によるミニ講座「健康的な食事で美しく！」も同時開催し、大変好評でした。

また、女性会員から体験談を語っていただきました。就業内容や会員になってよかったと思うこと、1週間での働き方など、女性会員のライフスタイルが参加者の皆様に具体的に伝わったかと思えます。

今後も「女性限定入会説明会」を開催する予定ですので、たくさんの方に参加いただきたいと思います。



女性限定説明会の開催は、
今回が2回目です
シルバーには女性が働きやすい
お仕事もたくさんありますよ！



笹口常務理事の開会挨拶

子どもさんと接する仕事は大変なこともあるけど、ほど良い緊張感と元気をもらえて楽しいです



放課後児童クラブで就業されている中野会員

イオンモール広島祇園 出張入会相談会

6月27日（火）、安佐南区のイオンモール広島祇園にて、出張入会相談会を行いました。ショッピングセンターでの入会相談会は、初の試みです。

来店されたお客様に会員募集チラシを配布しながら、当センターをPRするとともに、関心を持っていただいた方には、シルバー事業の概要と入会方法などについて説明しました。

10時の相談会開始時には複数の方が並ばれるなど、多くの方に関心を持っていただき、夕方までに18人に説明を行い、6人の方に入会していただきました。

入会申込された方からは、「いったん仕事を辞めて家にいたが、また生き生きと仕事がしたかったので入会した。」「自分のペースで仕事ができ、収入を得られるのが良いと思った。」などの声が聞かれました。



就業機会拡大の取組

老人福祉施設連盟

6月26日（月）、南区地域福祉センターで開催された老人福祉施設連盟の総会に出席し、「積極的な就業機会拡大の取組」としてシルバー事業の活用について検討していただくよう依頼しました。



スマホ教室

6月20日(火)(会場:佐伯区地域福祉センター)と21日(水)(会場:本部研修室)に、会員講習「スマホ教室」を開催し、2日間で31人の会員が参加されました。

ソフトバンク様の方を講師としてお招きし、スマホの使い方について、実際に機器を操作しながら教えていただきました。

基本的な操作方法に加え、地図・カメラなどよく使うアプリの活用方法を教わりました。また、人気のメッセージアプリ「LINE」の簡単な使い方講座もあり、画像の送信や音声での入力も体験しました。

普段からスマホを使用している方にも、まだお持ちでない方にも、丁寧な指導でわかりやすく、楽しく学ぶ事ができた様子でした。



佐伯区地域福祉センターでの講座の様子

スマホ教室8月開催予定

本部4階研修室にて開催します(参加費無料)

日程	講座内容
8月8日(火) 14:00~16:00	初めて触る!スマートフォン体験講座
8月9日(水) 14:00~16:00	LINEとスマホ決済講座

申込:シルバー人材センター本部
☎082(223)1156

※各日先着20名定員です。
お早めにお申し込みください!

交流カフェ

日時:2023年8月1日(火)9:30~11:30

場所:広島市シルバー人材センター 本部4階研修室
女子会・ニュースポーツ・切り絵同好会などのイベント実施予定

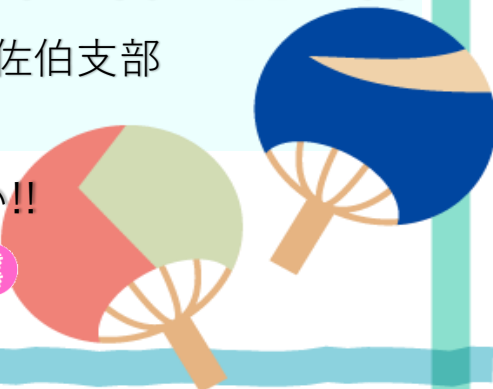
日時:2023年7月21日(金)9:30~11:30

場所:広島市シルバー人材センター 佐伯支部
会員相互の交流・情報交換

会員交流の場です。ぜひお越しください!!

高齢者いきいき活動ポイント対象事業(1ポイント)

いき
いき



健康 ぷらざ

糖尿病のステイグマ

— 糖尿病を誤解していませんか? —

公益社団法人日本糖尿病協会 理事長 清野 裕

企画：
日本医師会

No. 567

名称のイメージによる誤解

日本の糖尿病人口は、予備群を含め約2,000万人います(厚生労働省、令和元年)。成人の4人にひとりが関係する一般的な疾患です。しかし、糖尿病には「生活習慣病」の語感からくる不適切なイメージがつきまとい、「食べ過ぎや不摂生が原因」「自己管理ができていない」などの偏見が生じています。また就学、就職、結婚などのライフイベントで不利益を被る事例も報告されています。

悪循環を断ち切ろう

こうした社会の偏見は、糖尿病のある人に「負の烙印^{らくいん}=ステイグマ*」を押しします。そして、ステイグマを恐れるあまり、糖尿病があることを隠し、適切な治療機会を失うことで、合併症を発症してしまうという悪循環をもたらします。

この悪循環は、皆さんが糖尿病を正しく理解することによって解消できます。例えば、糖尿病のある人の寿命は短いでしょうか? 答えはノーです。2001年から10年間の糖尿病のある人の寿命は、30年前に比べて男性で8.3歳、女性で10.2歳も延び、日本人全体と比較しても大差はなくなっています。

*スティグマ：周囲から否定的な意味づけをされ、不当な扱いを受けること。

糖尿病があっても いきいきと暮らせる社会に

今の糖尿病医療は薬剤の選択肢も増え、個人の状態にあった治療が可能です。適切な血糖管理を行えば、糖尿病とともに一病息災、病気の無い人と変わらない生活ができます。

糖尿病は、体質や環境(ストレス)なども含めて複数の要因で発症します。決して自己責任論で語る疾患ではありません。誰もが発症する可能性があるからこそ、正しく理解し、糖尿病があってもいきいきと暮らせる社会をつくりましょう。

